

常任委員会

第3号議案から第32号議案までの計30議案について、定例会初日終了後、各常任委員会（付託協議）を開催し、3議案を所管の常任委員会に付託することに決定しました。

2日目（2月20日）の本会議での質疑後、3議案は所管の常任委員会へ付託し、残りの議案は、議会基本条例の規定により、本会議において質疑・表決を行いました。

付託された議案は、2月26日の常任委員会で審査を行いました。審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

総務財政常任委員会

委員長 佐久間 儀郎

副委員長 伊藤 勝美

委員 安藤 佳生・沼倉 啓介

平間 知一・四竜 英夫

◎辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

この計画は、辺地対策事業債を活用し、市内の蔵王・長峯地区の計画的な整備を行う「総合整備計画書」を、国の法律の規定に基づき、議会の議決を得て策定し、総務大臣

に提出するものです。公共的施設の総合整備計画は次のとおりです。

〔平成27年度～平成30年度〕

●みやぎ蔵王白石スキー場整備事業 5億6千735万6千円

〔平成27年度～平成31年度〕

●市道小久保平原線法面対策工事 70万円

●小型動力ポンプ更新事業 143万7千円

〔質疑〕白石スキー場整備事業は、スキー場や地元からの要望によるものなのか。

〔答弁〕NPO法人・不忘アザレア（指定管理者）から、AコースとBコースの合流地点が狭く危険で、スキーヤーの安全確保のため、コース幅によるグレンデ整備の要望を受けたものである。

リフト改良工事は、毎年の整備費用の低減を図るため、市が提案したものである。

〔質疑〕今回のグレンデ整備では、スノーボード用ハーフパイプコースの要望や、若者の来場を増やすための方策を検討する必要性はないのか。

〔答弁〕ハーフパイプコースの要望はなかったが、若者の来場を増やす方策については、今後検討していきたい。

〔質疑〕震災や蔵王山の火山活動活発化による影響を払拭し、交流人口の拡大を図るため、不忘アザレアに対し、さらなる営業努力や対策等を促す必要があるのではないのか。

〔答弁〕白石スキー場は、本市における冬季観光の中核的な施設で、交流人口の拡大には欠かせない施設である。本市は現在、台湾新竹市と

の交流を進めており、東南アジア等、雪のない国から訪れる外国人観光客にとっても貴重な施設と考えている。

不忘アザレアでは、シーズン以外にも春の野草研究会、フラワートレッキング、親子で星を見る会などの企画も行っている。シーズン中は、首都圏の利用客を取り込むため、JRや鎌先温泉とのタイアップした事業や、テレビやラジオなどのメディアを活用したPRも行っている。

市でも、さらなる積極的な営業活動を促していきたい。

〔質疑〕蔵王山の活発化する火山活動に伴い、今回の整備計画に噴火対策を盛り込むことはできないのか。

〔答弁〕噴火対策は、国が砂防計画を策定中であり、その計画を基に、火山防災協議会（関係する県・市町村で構成）が、ハザードマップを策定する計画である。その策定過程で、噴火対策も議論されるため、現時点で白石市が単独で事業とすることは難しい。

◎白石市行政手続条例の一部を改正する条例

この条例の改正は、行政手続法の改正に伴い、行政側の「行政指導の根拠の明示」、住民からの「行政指導中止等の求め」、処分及び行政指導の求めの条文を新たに追加するものです。

〔質疑〕条例改正により、市民への影響はあるのか。

〔答弁〕市民の権利利益保護充実のため、手続きを整備するものである。

◎白石市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例

公益的法人等への職員の派遣は、条例で定める任期付職員について、再任用職員は除かれているため、条例の一部を改正し、派遣を可能とするものです。

〔質疑〕公益的法人等への職員の派遣とは、どのような団体を想定しているのか。

〔答弁〕現時点では、（社）白石市社会福祉協議会のみである。